



Canadian
College



コーププログラム
学生体験記

Canadian College

コーププログラム学生体験記



Canadian
College

2008年創立

専門コース

- ビジネス
- 国際貿易 (FITT)
- ホスピタリティ (AHLEI)
- プロジェクトマネジメント
- IT
- ソーシャルメディアマーケティング
- コーププログラム



CCEL

1991年創立

語学コース

- 一般英語 (Smart English)
- ビジネス英語
- 大学進学準備 (EAP)
- IELTS準備

同キャンパス内の姉妹校Canadian College of English Languageで一般英語の就学も可能です。

Canadian Collegeでは、各業界の団体や企業の資格試験対策、認定科目を提供。国際資格の取得も可能です。



The Professional Path
to Global Markets

国際貿易



Advanced Hospitality & Culinary
Educational Institute

ホスピタリティ



Project
Management
Institute

プロジェクトマネジメント



インフォメーションテクノロジー (IT)



コーププログラム学生体験記

ホスピタリティプログラム

Hospitality Management & Co-op Certificate 1年

K.H.さん

Hospitality Marketing & Sales with Co-op

Certificate 6ヶ月

MAIさん

ビジネスプログラム

Business Management & Co-op Certificate 1年

TAKASHIさん

国際貿易プログラム

International Trade & Co-op Diploma 2年

T.I.さん

International Trade & Co-op Diploma 2年

TAKAOさん

Trade Management & Co-op Certificate 1年

KANAさん

プロジェクトマネジメントプログラム

Project Management & Co-op Diploma 2年

RIKOさん

Hospitality Management & Co-op Certificate

K.H.さん

留学中は思ったよりもあっという間に時間が過ぎます。期待と不安でいっぱいだと思いますが、「きっとなんとかなる!」という気持ちでぜひ色々なことに挑戦してみたいです。大変なこともたくさんありますが、かけがえのない経験を得られると思います。もしも「なんとかならないかも!」と思ったら、Canadian Collegeのオフィスに行ってみてください。絶対に誰か助けてくれます!



Hospitality Management & Co-op Certificate 1年



コープ先: ホテル

フロントデスク・カスタマー対応

Canadian Collegeを 選んだ理由

Canadian Collegeは多国籍で多くの生徒さんが在籍していること、学内にレストランがありアルバイトやCo-op就労が可能なことを聞き、この学校を選びました。私の留学の目標として、留学中は英語の会話能力を伸ばしたいということと、就学期間中もアルバイトをして生活費を自分で賄いたいという目標があったので、Canadian Collegeはピッタリだと感じました。また、**Co-op就労サポート**が手厚いことも魅力的でした。

Canadian Collegeでの 一番の思い出



学内レストランのアルバイトに採用して頂き、実際にキャッシャー・サーバーとして働いたことで、カナダに来て初めて採用されたお仕事だったので緊張しましたが、お客さんがCanadian Collegeの先生と学生さんばかりなので、私が英語に詰まったりしても温かく見守ってくれて(笑)、リラックスしてお仕事ことができました。また、色んなコースの学生さんが毎日ランチを買いに来るので、常連客の先生や学生さんと仲良くなったり、コース外の友達ができるきっかけになったりもしました。それに加えて、このアルバイトを通じてカナダでのレストランやカフェの知識をたくさん学ぶことができたので、とても良い経験ができました。



一番印象に残っている 科目や授業内容

最も印象に残っているのは**ビジネスマネジメント**の授業です。カナダ式の履歴書やThank you letterの書き方や面接対策、さらには仕事探しのコツや職歴を増やすコツまで、**カナダでの生活に必要な知識**を教えてくださいました。当時、私はまさに仕事探しの真っ最中だったので、**授業内で履歴書の添削**をしていただけたのがとても助かりました。**Co-op就労支援が手厚い**という評判は事前に聞いていましたが、ここまでしていただけるんだ！と驚いたのを覚えています。

コープ体験

BC州のTerraceという小さな田舎町にあるホテルで、**フロントデスク**として電話やカウンターでの**お客様対応**をしました。Co-op先となったホテルはCanadian Collegeから紹介して頂きました。面接のために、**動画を見たり友人と練習したり**していたのが功を奏して、面接自体はとてもスムーズに進みました。バンクーバーと違ってTerraceには移民はほとんどおらず、住民のほぼ全員がカナディアンなので、バンクーバー以上に**ハードな英語環境**でした。フロントデスクの仕事始めてから**英語力がぐんと伸びた**ように感じます。



大変だったこと

お客様の**クレーム対応**や、**イレギュラーな対応**を求められることが多いのがとても大変でした。レストランで勤務している時は、注文を聞き、お会計をしてドリンクや食事を提供するという一連の流れが出来上がっていたので、英語に自信がなくても一通り定型文を覚えれば、なんとかお仕事ができたのですが、フロントデスクはそうはいきません。ホテルからこのお店へはどう行けば良い？と予想外の質問をされたり、ホテルレストランのクレーム対応を代わりに引き受けたりと、**定型文だけではカバーできない会話力と対応能力**を求められます。周囲のスタッフがどのように対応しているか盗み聞きして言い方を真似したり、時間があるときにお客様対応の**フレーズをインターネットで調べてノートにメモ**したりして、**ポキャブラリーを増やす**ことを心がけながら日々頑張りました。

Hospitality Marketing & Sales with Co-op Certificate

MAIさん

もし今留学するか躊躇っている人がいたら、ぜひ勇気を出して留学に行きたくて欲しいと心から思います。留学は英語力を伸ばせるだけでなく、その国の文化や様々なバックグラウンドを持つ人と関わるができる絶好のチャンスです。「留学することで世界が広がる」というのはまさにそのことだと思います。これから留学を控えている人は、ぜひ何事にも積極的に取り組んで欲しいと思います。アンテナを常に張って、イベントやアクティビティに参加して、留学生生活をエンジョイしてください！



Hospitality Marketing & Sales with Co-op Certificate 6ヶ月



コープ先: フェアモントホテル
ホテルのラウンジアテンダント

Canadian Collegeを 選んだ理由

期間もプログラム内容も私の希望にぴったりだったのと、立地も良かったのでここに決めました。



一番の思い出

授業の合間の何気ない会話。ホスピタリティを専攻している人たちとは受講している授業がかぶっていることが多かったため、**自然と仲良くなり**、休憩時間に持ち寄ったお菓子を食べたり、**UNOをして遊んだり**したのがとても楽しかったです。

一番印象に残っている 科目や授業内容



Sales & Marketing の授業が一番印象的です。ホスピタリティ産業にはもともと興味があったのですが、サービスを提供する側としてしか考えたことがなく、**ビジネスの視点からとらえる**というのが新鮮でした。特に、**競合他社との差別化のための市場を把握(もしくは決定)するプロセス**において、**想像以上に複雑な要素が絡み合っている**ことを学び、自分が日本に帰って就職活動をしている今、とても役に立っていると感じます。市場で勝ち抜くためには、**丁寧な分析とそれを成果につなげる実行力が大切なのだ**と感じました。



コープ体験

私はFairmont Waterfrontというラグジュアリーホテルで三か月間働きました。Fairmont Gold Lounge Attendantというポジションで、**ホテル内のラウンジでのビュッフェやラウンジ全体の管理**をしました。チーム自体は12人程度だったので、とても**和気あいあいとした雰囲気**で働くことができました。また、ホテル内のほかの部署の人とも業務でもそれ以外でも関わることが多かったのですが、**みんなフレンドリー**で右も左もわからない私にたくさん話しかけてくれました。**すれ違う人全員話しかけてくれる**ため、**”How are you?”のやり取りを多い時には20人以上としたのはとてもいい思い出**です。滞在ゲストもとてもいい人ばかりで、最初のころの不慣れな私にも優しく声をかけてくださいました。中には私の名前を覚えてくれて、**直接言葉をかけてくださる方**もいて、とても**やが**いにつながりました。

就職まで



コープ先の職場は**indeed**で探しました。コープ期間が始まる前からアルバイト探しのためにindeedは利用していたので、その際にあらかじめ**キーワード**を登録しておいて、**興味がある仕事で新しい求人がきた時には通知が来る**ようにしていました。コープ先の職場もその通知で見てとても惹かれたので、**求人を見た瞬間応募**しました。すぐにマネージャーから電話が来て、面接の日時が決まりました。面接に向けて準備したことは、**予想される質問の答えを用意しておく**ことです。非常に単純なことですが、やはり英語での面接なので日本語よりも緊張するため、しゃべっている様子を録画して見返すなどしてしっかりと準備をしました。そのおかげで、当日に**苦勞したことや焦ったこと**などはなく落ち着いて受けることができました。珍しいパターンだとは思いますが、**面接の当日に採用をもらった**のでとてもうれしかったことをよく覚えています。



大変だったこと

仕事の内容やコミュニケーションで困ったことなどは特にありませんでしたが、**日々学びはたくさん**ありました。その最たる例は**語彙力**です。私の留学前の英語レベルは**日常会話レベル**なら問題なくできる程度でしたが、働くとなると、**日常会話よりも高度な語彙を求められる**ことがしばしばあります。**日本語で言う敬語表現のようなものは、**知ってはいてもなかなか使う場面がなかったので、それを実際に聞いたり自分でも使う機会が多くあり、とても学びになりました。最初の方はなかなか言葉が出てこなくて幼稚な文でしたが、**同僚やゲストが使っていていいなと思った単語は意識的に**使うようにしていました。そのようにしたことで、留学前よりも**語彙力が伸びた**と感じています。

勉強も遊びも、時間は有限なので1秒も無駄にせず、全力で楽しんで欲しいです。私はそのモットーで半年間駆け抜けて、本当に良かったと思っています。

International Trade & Co-op Diploma

T.I.さん

留学することで日本にいたら経験できなかったことがたくさん経験できますし、帰国後ももちろん帰国しなくても、この経験は絶対に活かせるものになると思います。でも留学して良かったと思えるようにするのは全て自分自身です！



4週間

スタート時 ENG130



International Trade & Co-op Diploma 2年



コープ先: フォワーダー (貨物利用運送事業者)
データ入力

Canadian Collegeを 選んだ理由と 一番の思い出



実際に働く経験が大事だと思っていたので、できるだけ長いCo-opプログラムを探しており、1年間Co-opができるという点と、バンクーバーで国際貿易をCo-op付きで学べるのが決め手でした。マーケティングのクラスで一番大きなプレゼンの前日、WhatsAppでチームと連絡を取りながら夜中3時までみんなで協力してプレゼン資料を仕上げたことは一番の思い出です。チームメイトには恵まれ、担当の割り振りや事前のデータ収集、まとめ等は非常にスムーズでしたが、みんなそれぞれがアルバイトをしながらのあのプレゼン準備は、単純にキャパが足りませんでした笑 当日は良い形でプレゼンを終えることができ、メンバーに感謝です。

国際貿易のGloval Value Chainで学んだインコタームズ (貿易取引条件を定めた国際規制) は、Co-op先の仕事上知っておくとスムーズなことが多く、たまに当時のノートを見返しながら仕事をしていました。

経済学では、元々社会系の科目に苦手意識がありましたが、先生が明るくエネルギーで楽しめました。また、自分の社会人経験からも授業内容が染みるようになってきて、初めて経済学が楽しいと思えました。授業以降、以前よりも経済系のニュースを自分から見るようになりました。

一番印象に残っている 科目や授業内容

コープ体験



フォワードの通関部でデータ入力の仕事をしました。

データ入力といっても必要な知識も多いことや、この業界で働くこと自体が初めてなこともあり、日々学びがたくさんありました。実際にFITT（国際貿易）の授業で学んだ内容を活かすことができ、実用的なことを学んでいたんだと実感しました。

仕事探しは基本的にIndeed等のサイトを利用、レジュメはカレッジの担当の方に何度か見てもらい仕上げました。苦労したことは応募後に返事がこないこと、面接で英語が足を引っ張ったことでした。約80社応募して返事もらったのは合計で4社のみでした。正直病みました笑
また私は、すぐ緊張してしまうタイプで準備不足の際は特に、頭が真っ白になるほど緊張してしまいます。そのため面接質問リスト（ネット検索と、自分が面接で聞かれたこと）を作り何度も練習しました。準備したから大丈夫という自信が緊張を和らげてくれました。

就職まで

通常2人で仕事を分担していましたが、その同僚が約1ヶ月の休暇を取ることとなり、1人で全てを回すこととなった時期は大変でした。入社から3か月たち、慣れてきたころではありましたが、知識・経験・仕事の処理能力は、その同僚の方が圧倒的に私より勝っていたため、はじめは不安でいっぱいでした。ただ自分が普段何に時間を要してしまうの分かっていたため、必要に応じて早めに始業する、間違えたことはメモに残し繰り返さない、分からないことはすぐ聞く、タスクが多すぎる際は一人で抱え込まないなど基本的なことを徹底することで、1ヶ月を問題なく乗り切ることができました。この期間を経て知識が増え、何より自信が付きました。

大変だったこと

International Trade & Co-op Diploma

TAKAOさん

英語ができなくても大丈夫です。この国にいる人はみんな英語が問題ないのだと考えがちになりますが、他の方も勉強してる途中なのです。英語を話しても通じないことも多々あるかと思いますが、それはお互いが勉強をしている最中だからです。自分そして相手のためにも、どうか通じないことを恐れずに積極的に交流して上達させましょう！



12週間

スタート時

TOEFL iBT 57



International Trade & Co-op Diploma 2年



コープ先：医療器具販売会社
ピッキング、在庫管理など

Canadian Collegeを 選んだ理由と 一番の思い出



貿易関係の勉強と職業経験を積めるプログラムに魅力を感じたためCanadian Collegeに決めました。セメスター終了後の飲み会は一番の思い出です。授業によってはチームで課題を進めることがありますが、そのような授業だとチーム内で仲良くなりやすいです。そのような友人たちと辛いテストを乗り越えた後の解放感は素晴らしいものでした。次のセメスターまでの1週間の休日を使って遊びに行ったり、飲みに行ったりしました。

国際貿易の Feasibility of International Trade

が印象に残っています。国籍の異なる方々と協力して、対象となる国について調査し発表しました。それぞれの得意なこと不得意なことを考慮し協力してひとつの課題に取り組めたのは、非常に楽しい経験になりました。

一番印象に残っている
科目や授業内容

コープ体験



歯科インプラント器具を販売する企業にて採用していただきました。注文書をもとに必要な商品を倉庫から取り出し、パッキングをしてお客様にご連絡する仕事でした。また在庫の整理及び管理も経験することができました。未経験の職種だったので**1からやることを覚えなおす**が必要ありましたが、同僚が質問をしやすい雰囲気の方々だったため、なんとかある程度一人で作業をこなせるようになりました。



就職まで

Indeedなどの紹介サービスを利用して現在の職場を見つけました。現在の職場を見つけるまでは、**興味のある職場にひたすら応募**しました。最初は応募してもほぼ返事はありませんでしたが、**レジユメの添削**などで**カレッジのスタッフに協力**していただき、面接などへ進めるようになりました。結果、採用していただくことができました。

大変だったこと

入学して最初のセメスターです。カナダきてまだまだ英語が拙い中、専門的な授業を受講することになり、**先生の仰ることもほとんど理解できない状態**でした。授業後に先生にどんなに英語が話せなくとも、**恥ずかしい思いを押し殺して質問**しました。今思えば、基本的な質問の定型文などはこのような経験をもとに習得することができたのではないかと思います。**人に何かを尋ねる機会は非常に多いため、早い段階で使えるよう**になって助かりました。

Trade Management & Co-op Certificate

KANAさん

留学は、期待と不安が入り混じっていることだと思いますが、その経験は、必ず将来の強みになると
 思います。皆様の留学生在活が充実したものになることを祈っております！



2週間



スタート時



修了時

Trade Management &
Co-op Certificate 1年

International Business
Certificate 6ヶ月



コープ先

ロジスティクス企業
事務職 3ヶ月

スタート時IELTS6.5

コープ時間が満了とならなかった場合には、
単位を取得した科目が該当するプログラムの修了書が授与されます。

CCEL 英語コース



カレッジに入る前に、なるべく多くの時間を、英語慣らしに使うことが最適だと思います。また、CCEL
 英語コースのたくさんの生徒が、カレッジに入学する生徒さんだったので、安心しましたし、カレッジ
 に入る前に友人を作ることは、何よりも心強かったです。私はカレッジ入学前の2週間のみ、CCEL英語
 コースに通いました。2週間のみでしたが、**通って本当に良かったと実感**しています。カレッジに入ると
 いきなりプレゼンがあったりと、授業に追いつくこと自体に必死でした。

FITT (国際貿易) の授業です。

もともとFITT Certificateを取得したかったので、この
 コースを選びました。この授業は基本的には聴講ですが、
貿易実務初心者にとっては基礎から学べるコースなので、
 とても**理解しやすい授業**かと思います。先生も図を描いて
 説明してくださるので、非常にわかりやすかったです。例
 えば、海外進出を検討している日本企業が、海外に支店を
 立てるのか、ライセンス契約で店舗を構えるのか、フラン
 チャイズ店を設置するのか、工場を設立して現地で生産ブ
 ロセスを完結させるのか、いろんなビジネスが考えられ、
 どの投資方法が最適であるのか、事例を使って学べます。
 FITTの授業内容は、これから貿易業界で働くことを目指
 す人だけでなく、すべての業界で国際的に活躍していく中
 で必ず役に立つ内容だと思います。

一番印象に残っている
科目や授業内容

一番の思い出



カナダでの仕事探しが一番大変でした。日本で職歴があっても、業界未経験の場合、カナダで仕事を見つけることは、かなり難しいです。私も約半年間で**50社以上**応募しましたが、その中で面接まで声がかかったのは、数件のみです。Indeed, Glassdoor, LinkedIn, 人材カナダ、ワーホリシロップのほか、気になる企業のWebサイトから直接応募もしていました。諦めず、根気よく探していくしか方法はないと思います。履歴書の準備や、事前に質問に対する回答を作っておくなど、事前準備は徹底しておくことが、心の余裕につながると思います。現地の方からアドバイスいただいたことは、自分の希望する職種でなくとも、まずはカナダで何かしらの職歴を作ってから、コープ先を見つけるという手法です。実際私も、カレッジに入ってからすぐに、コープ先探しと並行して、ローカルレストランでアルバイトをしていました。日常英会話のトレーニングにもなり、カナダでの職歴を履歴書に記載することができました。このように、カナダの職探しと日本での職探しのコツは全く違うものになるので、最初は周りからのアドバイスをいただきながら、徐々にコツをつかんでいくことが大切だと思います。

コープ体験

英語でグループプレゼンテーションができたことです。日本の大学の講義は、聴講することがほとんどで、受動的なイメージですが、カナダの学校だと、主体的に動いていかないと、何も評価されないことが印象的でした。日本で社会人経験を5年積み、セミナーを開催していたこともあるので、人前に立つことに抵抗はありませんでした。ただ、全て英語で話すことは初めてで、最初は上手く英語で表現できず、悔しい思いもしましたが、入学して3ヶ月も経つと、英語プレゼンテーションならではのコツもつかめ、次第にスムーズに話せるようになりました。

大変だったこと

私はロジスティクス企業の事務員として採用されましたが、3ヶ月で解雇されました。それ以前から日本に帰国した後のことも考え、転職活動を並行して続けていて、解雇された時期にタイミング良く、外資系企業から採用をいただきました。カナダに残ってコープ先を探し続けるか、日本に帰国して外資系で働くか、最初は迷いましたが、外資系企業から好条件で採用をいただき、早期帰国の決心ができました。社会人の方で留学後日本へ帰国される方は、上手くアピールできればキャリアアップにつながるはずです！

Bussiness Management & Co-op Certificate

TAKASHIさん

30歳を超えていたので留学するかかなり悩みましたが、来てみたらそんな悩みが小さなことだったと思えました。一度ぎりの人生ですので、悩まれているなら是非留学して色々な事を肌で体験してほしいと思います。



8週間+11週間延長

スタート時 ENG120
約2ヶ月後 ENG125



Business Management & Co-op
Certificate1年



コープ先: 内装工事会社
現場監督

Canadian Collegeを 選んだ理由

語学学習だけではなく、海外での実務経験を得られるCo-opに魅力を感じ、日本人の割合がそこまで高くなく、色々な国の留学生が多く集まっているので日本語を使用する環境が少ないと思いCanadian Collegeに決めました。またCanadian Collegeは、一般的なビジネス、ホスピタリティのコースだけでなく、国際貿易、IT、ソーシャルメディア等様々なコースを提供しています。学生の方だけでなく、キャリアチェンジや現在働いている業界でスキルアップを考えている方でも、色々な選択肢を広げる機会がある学校だと思います。

各学期の最後の週が休みになるので、10日程の休みを利用して色々な所へ旅行に行ったのが良い思い出です。トロント、ケベック、モントリオール、オタワ、バンフを一度に全部巡ってみたりと、日本で働いていた時は中々長期の休みを取るのが難しかったので、この機会を利用して多くの都市を観光しました。特にバンクーバーからも近いバンフは、日本では中々見ることが出来ないような大自然の絶景を見ることができ、また行こうと考えています。またバンクーバーは、アメリカのシアトルやラスベガスも近いのでとてもお勧めです。ラスベガスにも行きましたが、ホテルやカジノ等全てが規格外でこんな世界があるのかと衝撃を受けました。

バンクーバー自体もお金をかけなくても、バスで1時間圏内で自然を満喫することが出来る場所が沢山あるので、とても良い環境です。特に夏は日差しは強いですが、日本より湿度も低いのでとても居心地がよいです。バンクーバーへ来てから夏は絶景を見に山登りに行ったりと、とても充実した生活を送りました。身近に絶景が見ることが出来る場所が沢山あるのは、本当にバンクーバーの良いところだと思います。

一番の思い出



一番印象に残っている 科目や授業内容

マーケティングの授業が一番印象に残っています。自分の会社を作り、それをみんなの前でプレゼンする課題が非常に面白かったです。自身でコンセプト・アイデアを考え、それが市場・業界の中で競合他社と比べどのような強みがあるのかを分析したり、会社設立にあたり初期費用やランニングコストを予測し、事業を運営する為に必要な年間の売上を設定したりと**経営者としての目線で物事を考える必要**があり、色々と考えさせられました。プレゼンも勿論英語での発表なので非常に英語の勉強になりました。

また自分は学生の時にみんなの前で発表をするような授業がなかったので、非常に新鮮で楽しかったです。**ビジネス数学の授業**も楽しかったです。授業では、ローンの計算をしたりと**社会で使う数学**を学びました。授業内容はそこまで難しくなかったですが、それ以前に 2×3 , $6 \div 2$ みたいな簡単な計算式を英語でスラスラと反射的に口で言えない自分がいて悲しくなりました。分数になると尚更スラスラ言えない。授業を受けていくことで改善されてはいきましたが、改めて日常で使う簡単な表現も使えない自分にショックを受けました。

就職まで

Indeed, Glassdoor Jobs等の求人サイトで探し、個人的に応募してCo-op先を探しました。勿論カレッジから定期的に求人紹介があります。**苦労した点は2点**あります。**ひとつめ**は6~8社ほど応募しても面接へすら進めなかったことです。日本で働いていた業種を中心に応募していたので、経験もあるから面接の誘いはすぐもらえるだろうと多少の自信がありましたが、中々上手くいかなかったです。**次に英語を話せる**現地の人も採用時のライバルになることです。

やはり当たり前かもしれませんが、いくら経験や熱意があっても**流暢に英語を話せる人**を求められるケースもあります。その点は**諦めずに沢山企業へ応募**して採用を勝ち取るしかないと感じました。

準備しておいて 良かったこと

準備しておいて良かったことは、「**自分がCo-opの期間で何を学び、経験し、習得したいか**」を決めておくことだと思います。私の場合は、業種や目的を留学前からはっきり決めていたので、**就職活動中に方向性がブレることはなく**、希望する仕事に就くことが出来ました。特にCo-opは、**働ける期間が限られています**。Co-op期間が始まってからこれらを整理していたら、英語環境で働ける貴重な期間がどんどん短くなってしまいかもかもしれません。授業によっては課題も多く、勉強の時間を作らなければならなかったりと、集中して就職活動をするのが難しい時もありました。

また**履歴書等も日本とは異なり**決まったフォーマットがなく、ワード等で自分で作成します。良い履歴書でないと面接にすら呼ばれないので、**事前に時間をかけて作成**しておくことをお勧めします。今思うと履歴書は、日本にいる際に作っておけば良かったと本当に後悔しています。ただカレッジでは履歴書を細かく添削してくれるので非常に助かりました。

コープ体験

内装工事会社で現場監督として働きました。主にショッピングモールの中にある**店舗や飲食店の建設工事**に携わりました。役割は主に協力業者に作業内容を説明し仕上がりを管理したり、スケジュール調整、発注業務やサプライヤーへ資材を引き取りにいったりと多岐に渡りました。日本でも同様の仕事をしていたので仕事の進め方の点では、とまどうことはありませんでした。**驚いた体験**としては、約束したのに職人が現場に来なかったことです。前日に確認したにも関わらず来なかった時は、流石に笑えて来ました。

また**取り扱う部材でも呼び名が違う**ので勉強になりました。壁紙もWallpaperだったり、日本でクロスと言いましたが、こちらではまったく通じなかったです。他の業界でも同様に、**日本と海外での業界用語の呼び名が違う**ケースは多々あると思います。些細なことですが、これだけでも海外で働くことで勉強になったと感じました。あとは土日は働かない、残業はほとんどしないという文化がカナダにはあります。勿論業種や繁忙期にもよると思いますが、多くの人が定時になったら帰ります。ただその分日本より始業が早かったり、**合理的に仕事をする人が多い**のでみんな自分の仕事はきちんとこなしています。この点は見習うことが沢山ありました。

大変だったこと

一番はやはり上司・同僚や職人と**英語でのコミュニケーションをとるのに苦労**をしました。例えば、自分の考えやアイデアの方が効率的で綺麗に工事が終わると意見をもっていても、それを上手く英語で相手に説明が出来なくて苦労をしました。当たり前ですが、知識や経験がいくらあってもそれを**相手に理解させることが出来ない**と仕事では意味を成しません。相手へ説明する前に事前に英語で説明出来るように準備したり、時にはスケッチを描いて相手に説明するようにして自分の意見を正確に伝えるようにしました。

また、上司からの依頼事等も説明されて上手く理解出来ているか不安な時は、**自分の言葉で上司へ依頼された内容を説明**して確認しました。職場で英語の勉強さえ出来ればいいと考える方もいるかもしれませんが、**職場は学校ではありません**。お金をもらうので与えられた仕事を期限内にこなし、結果を出さないといけません。その為、現地の方と比べて英語が上手く話せない分、日本で働いていた時よりも自分なりに工夫したりして、相手から求められたことに**分かりやすく早く丁寧に回答**しないといけないと感じました。ただこれはどこの国でも同じだと思いますが、**仕事に対して一生懸命に取り組む姿勢**を見せていれば、周りの人が助けてくれます。私もまだ上手く英語で説明することが出来ない時は、上司や協力業者の方が辛抱強く話を聞いてくれたりと助けられました。**積極的にコミュニケーション**をとって、**周りとの良い関係を築きながら乗り越え**ました。

年齢も30歳を超えてから留学を検討し始めましたが、率直に言ってバンクーバーへ来て良かったと感じています。来てみて驚いたのが、自分より年齢が上の日本人の方で留学をしている人が沢山いたことです。永住権取得、キャリアアップ、異業種へのキャリアチェンジ等みんな様々な目的を持っています。30歳を超えてからの留学はもう遅い決断かなと来る前は感じていましたが、来てみるとそんなことはないなと感じるようになりました。また来てから色々な価値観や刺激に触れることで考え方が変わったり、選択肢が増えたりもします。現在留学を検討されている方には、是非お勧めしたいです。



Project Management & Co-op Diploma

RIKO HIBINOさん

Canadian CollegeのProject Managementコースは、受講後にすぐにカナダの社会、会社で活用できる知識と実践に近いたくさんのカリキュラムを用意してくれています。また、座学の内容は、PMPの試験対策としても非常に有効です。どの会社にもビジネスを維持拡大するためにプロジェクトは存在し、そのプロジェクトのリーダーとチームが必要です。これからプロジェクトマネージャーになりたい方、また、どのようなキャリアを歩みたいのかまだ決めきることができない方、どちらの方にもこのコースはおすすめです。



4週間
スタート時 ENGL130



Project Management & Co-op Diploma 2年



コープ先: 電気工事関連物品の卸売業者
プロジェクトコーディネーター

Canadian Collegeを 選んだ理由

Project Managementのコースを開設している数少ない学校であることに加え、Co-opも一緒に経験できる点に魅力を感じました。



Canadian College での一番の思い出

様々な国籍のクラスメートと授業を受けることで、彼らに負けないよう**自分の意見を持つ**ことができたことです。日本での授業は講義形式が多く、“聴く”ことがメインだったと思います。しかし、多国籍のクラスメートと一緒に授業を受けることで、あらためて**“自分の意見を発言すること”の大切さ**を学びました。正解、不正解ではなく、**自分はどうか考えるのか**、それはなぜか、臆せず発信し続ける彼らからたくさんの刺激を受けました。1回、1回の授業で自分は何を吸収できたかよりも、**どんな意見を述べる**ことができたかに重きを置くことで、インプットとアウトプットの両方を実践することができたと思います。



一番印象に残っている
科目や授業内容

Operation Management (運営管理)のクラスです。まず初回のクラスでグループ（4-5名）を作り、企業を想定したビジネスを検討します。セメスターを通して、Project Charterの作成に必要な項目を順に学び、最後はプレゼンテーションを行うというものです。細かくプロジェクトに必要な要素学べるだけでなく、**実際のビジネスを想定しながら、コストや利益の計算を行う**という点は非常に臨場感がありました。また各グループのビジネス案も非常に魅力的で、とても内容の濃いクラスだったと感じています。

コープ体験



モンリオールに本社がある電気工事関連物品の卸売会社で、**プロジェクトコーディネーター**として働きました。流通業界であることから、主に新設、改築の建物や工事に関わる電気工事関連の物品の調達、管理を行います。クライアントと販売業者の間に立ち、**80件（10億円相当）のプロジェクトの進捗管理**を任せられました。大学、病院、大型ビル、発電所、ショッピングモール等、バンクーバーの新たな建設工事の多くに携わることができたので、**勉強したことを実践として活かせる機会**を得られるだけでなく、**実際にプロジェクトの完成品を目にすることができる**という点に大きなやりがいを感じました。

就職まで

数種類のレジュメをあらかじめ用意し、**職種に合わせて使い分け**るように工夫しました。日本でのバックグラウンドが電力会社であったため、エネルギー関連の仕事に応募する際は、エネルギーの内容を濃く表したレジュメを使い、日本で広報業務に携わっていたことから、イベント関連会社に応募する際は、職種やその経験に重きを置いたレジュメを活用していました。また、掲載されている情報の中で”**Job Description**”（職務内容）には必ず目を通すようにし、その掲載文の中で活用されている語句やツールの名前を活用、修正することを意識しました。



大変だったこと

わたしの支店は、全員がカナディアンということもあり、最初の数か月は彼らの話すスピードに慣れること、また業界用語、会社のシステムを覚えることに苦労しました。さらに、各会社のPM（プロジェクトマネージャー）やエンジニアと一緒に仕事をすることから、自分の実力が十分であることを証明するために、メールの返信や質問や依頼事項への**対応速度**に気を付け、慣れてきた頃から**プライベートの時間**を使って、**CAPMとPMPの資格取得**に重きを置くようにしました。**PMP**を取得したこと、レスポンスの速さを評価されることが多くなり、今は**クライアントからプロジェクトの管理を指名**されるようになったことで、少しずつ自分の成長を実感できるようになっています。

*CAPM(Certified Associate in Project Management)certification (就労経験不要)

PMP(Project Management Professional) Certification (要就労経験)



CCEL



#450-1050 Alberni st.
Vancouver, BC V6E1A3 Canada



canada-english.com/jp/



@canadiancollege_english



DLI#019352470312



Canadian
College



#200-1050 Alberni st.
Vancouver, BC V6E1A3 Canada



canadiancollege.com/jp/



@canadiancollege



DLI#019352621432